

基礎利益の内訳（三利源）の開示について

第一生命保険相互会社（社長 齋藤 勝利）は、従来から適切な経営情報の開示に努めてまいりましたが、経営の透明性をより一層高めていくことを目的に、平成17年度の決算から、基礎利益の内訳（三利源）を開示することを決定いたしました。

1．基礎利益の内訳（三利源）開示の目的

当社では、期間収益を表す指標として、これまでも「基礎利益」や「逆ざや額」を開示してきました。平成17年度決算からは、ご契約者をはじめとした関係者の皆様に、当社の期間損益の増減要因等を含めた経営状況を一層ご理解いただくことを目的に、「基礎利益」の内訳項目として三利源の状況を自主的に開示いたします。

2．基礎利益の内訳（三利源）の開示内容

以下の形式にて開示する予定です。

（単位：百万円）

区 分	平成16年度	平成17年度	増 減
基礎利益			
逆ざや額			
危険差益			
費差益			
キャピタル損益			
臨時損益			
うち 危険準備金繰入額			
経常利益 (= + +)			
特別損益			
うち 価格変動準備金繰入額			
法人税等その他			
当期末処分剰余金 (= + +)			

平成16年度分についても参考として開示する予定です。

【ご参考】

「基礎利益」は、保険本業における期間収益を示す指標のひとつです。保険料や運用収益を原資として、保険金・給付金をお支払いする一方、将来のお支払いに備えるために責任準備金を積み立て、これを運用するという活動の結果としての収支を捉えたものです。

これまで「基礎利益」ならびにその構成要素のひとつである「逆ざや額」を開示してきましたが、これらに加えて、平成17年度決算より「危険差益」と「費差益」を開示します。

<イメージ>

